

【4年生】

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国語	<p><b>〈読解について〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音読や読書に意欲的に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>○文学的文章では、人物の行動や言葉から気持ちを想像して内容の大体を読むことが概ねできている。</li> <li>○説明的な文章では、指示語が指す内容を正しく捉えたり、段落相互のつながりを考えて読んだりすることに課題がある。そのため叙述を基に筆者の考えを整理したり要旨を把握したりすることが十分にできていない。</li> <li>○語彙力や生活経験の差が大きく、比較的平易な言葉であっても、意味を正しく理解したり様子をイメージしたりすることが難しい児童も少なくない。</li> </ul> <p><b>〈書くことについて〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章を書くことに苦手意識を感じている児童もいる。</li> <li>○語彙力、表現力の個人差が大きく自分の思いや考えを適切に文章で表現することが難しい。</li> <li>○書いた文章を読み返す習慣が十分に身に付いていない。</li> </ul> <p><b>〈漢字について〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の定着度は、個人差が大きい。</li> <li>○習った字を文章の中ですすんで書こうという意識が乏しい。</li> </ul>	<p><b>1 読解について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音読のめあてを設定し、児童が読みのねらいを意識して取り組めるようにする。</li> <li>○ポプラタイムを活用して、主語・述語、修飾語、助詞などの言語事項について、継続的に指導する。</li> <li>○意味調べの時間を十分に確保し、国語辞典を用いて分からない言葉を調べ、意味を正しく捉えたり、活用したりできるようにする。</li> <li>○読書週間を設定し、読書に親しむ機会を増やす。「読書のあしあと」に、年間を通じて読了した本を記録させていく。ジャンルに分けた必読書リストを配布する。また、成増図書館と連携して全学年でブックトークを実施し、読書の楽しさに目を向けさせる。このような取り組みを通して、多くの児童の読書量や語彙量を増やせるようにする。</li> </ul> <p><b>2 書くことについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語の授業だけでなく、機会を捉えて計画的、継続的に文章を書くことに取り組めるようにする。</li> <li>○手順を明確にした作文指導を行うことで文章を書くことへの抵抗感を少なくしていく。また、「言葉の宝箱」を活用し語彙の拡充に取り組む。主述の呼応、誤字、脱字等の表記の仕方といった表記上の観点を明確にして、書いた文章を読み返し修正するという習慣作りをする。</li> </ul> <p><b>3 漢字について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宿題等で継続的に繰り返し練習できるようにして定着を図ると共に、日常的に既習漢字の活用を促す。</li> </ul>

<p>社 会</p>	<p>○調べたことをまとめる学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○自分たちの生活と関連付けて考えることが十分に身に付いていない児童もいる。</p> <p>○資料から必要な情報を読み取ることが苦手な児童がいる。</p>	<p>○資料の読み取りを通して、地域や社会を支える仕事をしている人々の努力や工夫に気付かせる。また、地域社会の営みに目を向けさせるようにする。</p> <p>○調べたことをまとめる多様な表現方法を経験させ、箇条書きや分かりやすい見出しなどを指導し、適切にまとめる力を伸ばす。</p> <p>○資料の提示の仕方を工夫し、授業の中で資料を見る観点を明確にし、必要な情報を読み取る手順を指導する。</p>
<p>算 数</p>	<p>○基本的な四則計算のやり方は理解している児童が多い一方、正確さと計算にかかる時間の個人差が大きい。中には九九があやふやな児童もいる。3桁×2桁のかけ算や、3桁÷2桁の割り算など、計算が難しくなったり手順が複雑になったりすると、ミスが増える。</p> <p>○自分の考えを、筋道を立てて説明したり図表や数直線を用いて表したりすることの能力の差が大きい。また、思考力を問う問題・応用問題の正答率が低い。</p> <p>○分度器の使い方や図形の作図では、正確に作図したり角度を測ったりすることが苦手な児童もいる。</p>	<p>○朝学習の時間にベーシックドリルを活用したり、授業の中で基礎的な計算問題に取り組んだりする時間を設け計算能力の定着を図る。休み時間や放課後の時間を使い、個別の支援を行う。</p> <p>○既習事項を活用し、自分の考えを図や表、式、数直線などを使って表現する活動に、繰り返し取り組むようにする。また、問題解決学習を取り入れ、自力解決や集団解決を通して思考力や表現力を身に付けさせていく。</p> <p>○授業の中で、定規や道具を使う活動を意図的に作り、正しい使い方が身に付くよう繰り返し指導する。</p>
<p>理 科</p>	<p>○問題を見出す力は身に付いてきたが、既習の知識や生活経験から根拠ある予想や仮説を発想する力が十分に身に付いていない。</p> <p>○基本的な実験・観察の技能が十分に身に付いていない児童が存在する。</p> <p>○理科の実験や観察などには興味をもって取り組んでいる。</p>	<p>○「問題づくり→予想→実験・観察→結果→考察→まとめ」の流れを意識した授業づくりを行い、学びのプロセスを定着させる。問題づくりのあと、すぐに実験や観察に進まず、必ず予想を立てるようにする。その際、既習の知識や生活経験を生かして「根拠のある予想」を立てるよう指導する。</p> <p>○実験前に、道具の使い方や安全指導を確実にを行う。危険度の高い活動では、必ず演示を行う。特に、加熱器具の指導は丁寧に行う。</p> <p>○興味や関心をさらに刺激するような体験や活動から問題づくりを行い、実験や観察など体験的な方法を多く取り入れることで、実感ある理解を導く。</p>

音 楽	<p>○明るく意欲的に授業に取り組む児童が多い。</p> <p>○美しい声に憧れをもち、頭声で歌える児童が増えてきた。</p> <p>○学習に積極的に取り組む一方で、集中力が途切れてしまう児童もいる。</p>	<p>○児童にとって分かりやすく、意欲的に取り組めるような教材を工夫する。また、頑張っている部分をその都度褒め、更に高い目標がもてるように指導する。</p> <p>○常に綺麗な声で歌えることを目標とし、基礎的な発声法や歌い方、言葉の扱い方など身に付けさせる。</p> <p>○今何をすべきかと端的に伝えるようにしたり、児童が意欲をもって学習できるよう、学習内容を工夫したりする。</p>
図 工	<p>○授業で学んだ知識や技能を、自分の表したいイメージに合わせて活用することに課題がある。</p> <p>○豊かに発想できる一方で、イメージをより深めたり、表現方法を考えたりすることに課題がある。</p> <p>○課題や手だてが掴めないために、主体的に学ぶ姿勢になれない児童がいる。</p>	<p>○技能の魅力が、作品としての魅力に負けてしまうことのないよう、作品制作について児童が決める部分と、教師の決める部分を明確にしていく。</p> <p>○イメージをより深めていけるような発問や例示を工夫する。また、児童がより積極的に取り組みたくなるような材料や用具の準備を行う。</p> <p>○題材研究を進め、材料や用具、技法を吟味し、どの児童も自分で進めることができる、かつさらに活動したい児童にとっては工夫のできる題材を開発する。</p>
体 育	<p>○すすんで運動しようとする児童が多い。</p> <p>○生活や遊びの中での経験に差があり、技能差がある。</p> <p>○感染症対策により体を動かす機会が減ったこともあり、体力が低下している児童もいる。</p>	<p>○段階を踏んだ指導を充実させ、できた喜びを味わわせる。</p> <p>○ルールを工夫し認め合う声かけやアドバイスの声かけの仕方を指導し、できるだけ関わり合いを積み重ねる。</p> <p>○練習の場や方法を工夫し、経験や技能に差があっても、楽しく、めあてをもって取り組める活動を工夫する。</p>
道 徳	<p>○登場人物の気持ちを自分事として考えることができている児童が多い。</p> <p>○自分の生活を振り返り、できた経験、できなかった経験を想起し、それについての考えをもつことが難しい。</p>	<p>○毎時間の学習において価値項目に迫る発問の後、自分の経験を振り返ったり、友達の経験を聞いたりする学習活動を位置づけ積み重ねる。</p>
外国語活動	<p>○楽しみながら声を出して発音したり熱心に聞いたりできる児童が多い。</p> <p>○外国語の語彙や外国の生活等の様子への興味・関心の個人差が大きい。</p>	<p>○挨拶、曜日、天気、時刻などを尋ねる日常会話等、よく使用する表現は、毎回の授業に意識的に使用し、慣れ親しめるようにする。</p> <p>○歌やゲームを通して語や表現に親しませる。</p>

<p>総合的な 学習の 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的・主体的に取り組む児童が多い。</li> <li>○テーマから、自分なりの課題を決めるのが難しい児童もいる。</li> <li>○自分の課題について有効な情報を見付けたり、選んだりできない児童がいる。</li> <li>○調べた内容を分かりやすく表現することに慣れていない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例を挙げたり、教科の学習との関連を考えさせたりするなど助言を行う。課題のもち方を具体的に指導する。</li> <li>○調べるための材料を用意したり、検索ワードの入れ方を具体的に助言したりする。時間を確保し、経験を積み重ねるようにする。</li> <li>○まとめ方を具体的に提示し、調べたことや、自分の考えを表現する活動を積み重ねる。発表の機会をもち、表現活動を大切にする。</li> </ul>
----------------------------	--	---